

令和7年度新城市地域公共交通会議予算について

1. 概要

Sバスちさと線、塩瀬線、鳳来寺山もつくる新城線、つくであしがる線、海老連谷線は、作手線や、田口新城線といった地域間幹線系統に接続しているフィーダール線として、バスの運行費等に対し、国庫補助（フィーダー補助）を受けています。

これまでは、市が交付申請を行い、補助金の交付を受けていましたが、令和2年11月の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正により、計画と補助制度の連動化が行われ、令和6年10月から令和7年9月までの令和7事業年度の国庫補助金からは法定協議会である当会議で国庫補助金を申請する必要があります。

以上の理由から、新城市地域公共交通会議庶務規程第8条の規定に基づき、予算を調製し、協議に諮るものです。

なお、国庫補助金は、当会議の口座に入金後、新城市へ支出します。

2. 予算の内容

歳入	補助金	地域公共交通確保維持改善事業費補助金	19,896千円
	諸収入	新城市からの収入（市への振込手数料分）	1千円
歳出	事務費	地域公共交通確保維持改善事業費繰入金	19,896千円
		振込手数料	1千円

新城市地域公共交通会議予算（案）

歳入

単位：千円

款	項	目	項目	予算	内容
2	1	1	補助金	19,896	国庫補助金 (地域公共交通確保維持改善事業費補助金)
7	1	1	諸収入	1	市から 振込手数料分
合計				19,897	

歳出

単位：千円

款	項	目	項目	予算	内容
1	1	1	事務費	19,897	地域公共交通確保維持改善事業費繰入金 (国庫補助金新城市繰入金) 19,896千円 振込手数料 1千円
合計				19,897	